

ひまわり No.26

消防広報 平成30年(2018)2月20日

編集・発行 出雲市消防本部 消防総務課
TEL: (0853)21-2119(代)
e-mail: soumu@izumo119.or.jp



出雲大社消防演習



出雲市消防本部

毎年1月26日は、文化財防火デーです。昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建築物である法隆寺が炎上し、絵画を焼損しました。また、例年1月から2月に火災が多発することから、昭和30年にこの文化財防火デーが制定されました。

出雲市消防本部管内では、平成30年1月21日(日)に日御碕神社、1月26日(金)に出雲大社、1月28日(日)に須佐神社、韓竈神社で消防訓練が実施されました。また、この訓練には消防職員及び消防団員などが参加し、実践さながらの放水訓練を行いました。

今後も、貴重な文化財をみんなで守りましょう!!



日御碕神社消防訓練 日御碕女性消防隊による放水

平成29年度 幼年、少年消防クラブ、女性防火・防災クラブ指導者研修会を開催!

平成29年11月25日(土)、市内で活躍される防火団体(幼年、少年消防クラブ、女性防火・防災クラブ)を対象とした、指導者研修会を開催しました。この研修会は、災害時の避難所運営や、児童の防災教育に携わる防火団体の皆様に技術・知識を身に付けていただくことを目的とし、毎年開催しています。

今回は23団体から参加をいただき、ゲームを通じて防災への知識を深め、段ボールを利用したトイレ作りなど、実践的な技術を学習しました。

研修会では消防職員の子供も参加し、参加者と協力しながら防災ゲームに挑戦しました。



子供たちの多感な意見に、参加者も笑顔がこぼれます。



「災害時のトイレ対策」では、段ボールトイレの作成法を学びました。

防災ゲームの貸し出しを行います!

出雲市防災安全協会様より、4点の防災ゲームを寄贈いただきました。防災ゲームは児童も楽しみながら防災を学ぶことができます。



(左)なまずの学校…災害時に役に立つアイテムを考え、学習します。
(右)シャッフル…非常時の豆知識を、カードゲームを通じ学習します。



防災ダック…体を動かしながら、場面ごとに必要となる行動を学びます。

上記のほか、「家まですぐらく」という防災ゲームもあります。地域での防災訓練などで活用されてはいかがでしょうか?

管理: 予防課 21-6921(直通)

消防 Q&A



Q1、火事がない時は何をしていますのか?

A 災害はいつ起こるかわかりません。いつ起きてもすぐに出動できるように、消防車や機械の点検をしたり、さまざまな災害に対応できるように訓練をしています。その他にも、各種届出の処理や、消火栓等の点検、各事業所の避難訓練指導等、様々な業務を行っています。

Q2、緊急走行は、どのくらいのスピードで走行するのですか?

A 緊急走行時、一般の道路では、時速80km、高速道路では時速100kmで走行してよいことになっています。緊急車両が通行する際は、道路の脇に避け、通過するまでご協力をお願いします。

Q3、災害現場に出動する時は、どのくらいで出動できますか?

A 出動指令を受けてから装備を整え、車両が出動するまで1分前後です。そのためには、日頃から出動訓練をしたり、管内の地理・水利を把握し、いち早く現場に出動できるように心掛けています。

予防課からのお知らせ

出雲市消防本部は糸魚川市大火(H27)を受け、夜間営業店舗を一斉立入検査するなど火災予防を強化しています。今後も多くの事業所へ確認に伺いますので、出雲市の安全安心の為、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



お尋ねは

代表 (電話 21-2119) (FAX21-8241)

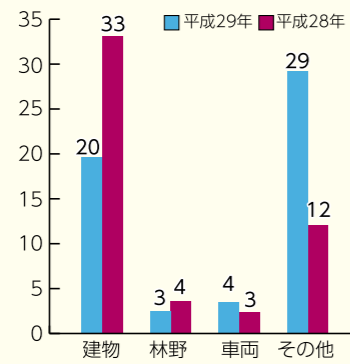
- 消防総務課 (電話 21-6920)
- 出雲消防署 (電話 21-6926)
- 平田消防署 (電話 63-5519)
- 予防課 (電話 21-6921)
- 佐田分署 (電話 84-0915)
- 大社消防署 (電話 53-2373)
- 警防課 (電話 21-6923)
- 出雲西消防署 (電話 43-8119)
- 斐川消防署 (電話 72-0800)
- 指令課 (電話 21-6924)
- 多伎分署 (電話 86-2149)

災害案内 (電話 23-0119) ホームページアドレス <http://www.izumo119.or.jp>

平成29年 火災・救急統計 (1月～12月)



火災件数56件
(前年比4件増)

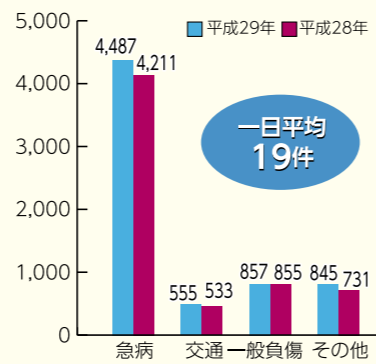


平成29年の火災件数は56件で、前年の52件に比べ4件の増加となりました。

種別毎にみると、「建物火災」、「林野火災」は減少傾向にあります。枯草などが燃えた「その他火災」は28年の12件に比べ29件と倍以上の増加となりました。



救急件数6,744件
(前年比414件増)



平成29年の救急件数は6,744件で、前年の6,330件に比べ414件の増加となりました。

種別毎にみると、「急病」が4,487件で全体の約67%を占め、次いでけがや骨折などの「一般負傷」が857件、「交通事故」が555件となっています。1日あたりの救急出場件数は平均19件となります。

出雲市消防団

学生ボランティアサポート隊のみなさんが 火の用心・消防団加入促進PR!!

平成29年11月9日(木)早朝、秋季全国火災予防運動にあわせJR出雲市駅及び電鉄出雲市駅、国道9号消防本部北交差点にて広報活動を行いました。

広報活動では、火災予防運動のPRのみならず、出雲市消防団への加入促進PRも兼ね、出雲市消防団学生ボランティアサポート隊(出雲医療看護専門学校及び島根県立大学出雲キャンパス学生)が、若さを活かし、元気かつ爽やかに活動しました。

朝の通勤時間帯ということもあり、会社員の方、学生の方など幅広くPR活動できました。



春季全国火災予防運動は、3月1日～3月7日です。
火災の起きやすい季節を迎えるにあたり、家族で火災
予防を確認しましょう。

「火の用心 ことばを形に 習慣に」



火災予防運動 担当：予防課 21-6921 出雲市消防団担当：警防課 21-6923

建物密集地での火災について

近年、糸魚川市大規模火災(平成28年12月)や明石市大蔵市場火災(平成29年10月)といった建物密集地での火災が発生しています。出雲市でも大社町や湖陵町の木造建物密集地で火災が発生し、住民の生命、財産が脅かされています。

木造建物密集地で火災が発生した場合、強風等の要因が重なれば延焼拡大し被害は甚大となります。火災は少しの油断、不注意から発生してしまうことがほとんどです。火災を起こさないためにも普段から火の取扱いには十分注意しましょう。

消防署では、地域住民の一層の防火意識の高揚と地域の火災予防活動の強化を図ることを目的として防火教室や防災訓練を実施しています。各地区で防火教室等を希望される方はお近くの消防署までご連絡ください。



地域住民との密集地火災想定訓練の様子

警察合同訓練

警察合同 テロ対応訓練

平成29年12月13日(水)、出雲市民会館にて警察合同テロ対応訓練を行いました。関係機関の連携をより強化するとともに、事案発生時の関係機関相互の連携及び対応状況を確認、問題点の抽出、その改善等を行うことにより、事案対応能力の向上を図ることを目的とし、島根県警察本部、出雲警察署、出雲市民会館職員、出雲市消防本部が連携し、訓練を行いました。

想定は、市民会館職員より、「1階エントランスホールのソファ前に不審物が置いてある。」との通報により警察が出動。捜査が行われ、体調不良者が複数名いるとの情報により消防が出動し、活動するというものでした。

各関係機関への連絡、情報収集、広報活動、検知活動、除染活動等の様々な活動により、参加関係機関の連携がより一層強化された訓練となりました。



警察合同 大規模災害警備訓練

平成29年11月2日(木)、旧光中学校を利用し、地震により津波が発生、崩落した建物上階に人が取り残されたとの想定にて、島根県警察本部、出雲市消防本部が連携し訓練を行いました。

大規模災害がいつ発生するか分からない現在、災害発生時の関連機関との連絡、連携体制の強化が図れました。



島根県防災航空隊合同訓練を実施

平成29年11月20日(月)、27日(月)に斐川町西出にて合同訓練を実施しました。毎年合同訓練を実施していますが、今回は山中にて滑落者発生との想定にて救出訓練を実施しました。

山中や海岸等、陸路では救出が困難であったり、時間を要する場合は、上空からの救出活動も行います。

上空と陸上、相互に連携のとれた活動が取れるよう今後も連携強化を図ります。



廃車を使用した交通事故救助訓練を実施しました



出雲市消防本部では地元企業の協力を得て廃車を借用させていただき、交通事故救助訓練を各署で実施しています。

普段、実際の車両を使用しての救助訓練がなかなか行えない中、特殊な救助器具を使用してのドアの開放訓練やフロントガラスの切断訓練などを実施することが出来て、とても有意義な訓練となっています。

万が一、交通事故が発生した際には適切な活動が出来るように、今後も継続して訓練を実施していきます。

